

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【公開番号】特開2008-12116(P2008-12116A)  
 【公開日】平成20年1月24日(2008.1.24)  
 【年通号数】公開・登録公報2008-003  
 【出願番号】特願2006-187176(P2006-187176)  
 【国際特許分類】

A 6 1 B 5/055 (2006.01)

G 0 1 R 33/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 5/05 3 8 0

G 0 1 N 24/02 5 2 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成23年9月8日(2011.9.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の画像を処理する画像処理装置であって、  
 操作部及び表示部を有する画像処理装置を制御する制御部を有し、  
 前記表示部に前記画像を処理する複数の操作キーが表示され、  
 前記操作部を用いて選択された前記操作キーに従って前記画像を処理する操作が行われ

、  
 前記表示部に表示する複数の操作キーの表示パターンは設定により変更可能な画像処理装置。

【請求項2】

被検体の画像を生成する磁気共鳴イメージング装置であって、  
 前記磁気共鳴イメージング装置は、  
 撮影装置本体と、前記撮影装置本体に接続する制御装置と、前記制御装置に接続する操作部及び表示部と、を有し、  
 前記操作部の操作のパターン設定をオペレータ毎に変更可能な、  
 磁気共鳴イメージング装置。

【請求項3】

前記制御装置に記憶されたオペレータ毎の前記操作部の操作のパターン設定についてのデータに基づいた前記操作部の操作により前記被検体の画像が生成される請求項2に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項4】

前記操作部の操作についての情報は、前記制御装置の制御により前記表示部に表示される請求項3に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項5】

前記オペレータが前記磁気共鳴イメージング装置を操作する上で必要な前記操作部の操作についての情報のみが前記表示部に表示される請求項3または請求項4に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項6】

前記オペレータが前記磁気共鳴イメージング装置を操作する上での重要度に応じて、前記表示部に表示される前記操作部の操作についての情報の配列を変更する請求項 3 から請求項 5 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 7】

前記操作部の操作についての情報は、前記オペレータが前記磁気共鳴イメージング装置を操作する上で参照すべき情報である請求項 3 から請求項 6 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 8】

前記磁気共鳴イメージング装置は前記制御装置に接続する音声出力部を有し、

前記操作部の操作についての情報は、前記表示部に表示されることに代えて、または、前記表示部に表示されるとともに、前記制御装置の制御により前記音声出力部に音声出力される請求項 4 から請求項 7 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 9】

前記操作部の操作パターンに基づいた前記操作部の操作に対応して、前記表示部に表示される前記被検体の撮影画像が変化する請求項 3 から請求項 8 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 10】

前記制御部は、オペレータが前記操作部に入力した情報に基づき、前記オペレータを識別する請求項 2 から請求項 9 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【請求項 11】

前記制御部は、オペレータが前記操作部に入力した情報に基づき、被検体の画像のデータの転送先を変更する請求項 2 から請求項 10 のいずれか一項に記載の磁気共鳴イメージング装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像処理装置及び磁気共鳴イメージング装置